



平成 17 年 1 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社 ブロッコリー
代表者名 代表取締役 木谷 高明
(J A S D A Q ・ コード 2 7 0 6)
問 合 せ 先 取締役財務経理部長
興津 吉繁
(TEL : 03 5946 2824)

平成 17 年 2 月期通期 (連結・単独) 業績予想の修正
及び特別損失計上に関するお知らせ

平成 17 年 2 月期(平成 16 年 3 月 1 日~平成 17 年 2 月 29 日)の業績予想について、平成 16 年 10 月 19 日付当社「平成 17 年 2 月期中間決算短信(連結)」及び同日付当社「平成 17 年 2 月期個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1 . 平成 17 年 2 月期 連結業績予想の修正

(1) 通期(平成 16 年 3 月 1 日~平成 17 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回予想 (A)	8,880	6	0
今回修正 (B)	8,430	345	440
増減額 (B - A)	450	351	440
増減率	5.1%		

(2) ご参考：前期の実績(平成 15 年 3 月 1 日~平成 16 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
通 期 (3 / 1 ~ 2 / 2 9)	8,358	739	1,859

2 . 平成 17 年 2 月期 単独業績予想の修正

(1) 通期(平成 16 年 3 月 1 日~平成 17 年 2 月 28 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	8,665	10	6
今回修正 (B)	8,230	340	430
増減額 (B - A)	435	350	436
増減率	5.0%		

(2) ご参考：前期の実績(平成 15 年 3 月 1 日～平成 16 年 2 月 29 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期 (3/1～2/29)	8,229	725	1,832

3. 修正の理由

以下において数値は連結ベースであります。連結子会社については影響が小さく、連結ベースと単体ベースとはほぼ同様の内容につき、区別した説明は省略しております。

(1) 売上高

連結売上高は、前回予想に対して 430 百万円（前期比 72 百万円）の 8,430 百万円の見込みであります。内、主要な分野である国内店舗売上高は、秋葉原地区が前期比 113%、既存店舗が前期比 101% であり、これに新店舗と閉鎖店舗・縮小店舗の差額を差し引いても店舗全体で前年同期比 101% の 5,850 百万円を確保できる見通しであります。しかしながら、前回予想に対しては第 3 四半期における天候不順及び全般的な新商品の供給不足等が影響し、12 月以降第 4 四半期の書き入れ時の挽回をはかっても 116 百万円の未達となる見込であります。一方、国内本社売上高（主にコンテンツ売上高）は、ゲームソフトの発売中止または次期以降へのズレ込み等が響き、また通販・イベント等の売上高の伸び悩みもあって、前期比 96% の 2,380 百万円（前回予想比 319 百万円）に留まる見込であります。

(2) 経常利益

売上高の未達が売上総利益率の低下を伴いそのまま売上総利益の不足となり、販売費・一般管理費の抑制(前期比 188 百万円の減少見込)するも、経常利益が前回予想比 351 百万円減少し 345 百万円（ただし前期比 380 百万円の改善）になる見込であります。

(3) 特別損失の計上について

当下期において、当期発売を予定していたゲームソフトについて開発の遅れとタイトルの市場性に鑑み発売を中止した方が得策と判断した 2 タイトルの開発中止損 48 百万円及び保管コストが嵩むたな卸資産の廃棄損 15 百万円の合計 63 百万円を特別損失として計上する見込であります。

なお、当期の特別損益は 67 百万円の見込みであり、前期比 375 百万円改善しております。

(4) 当期純利益

この結果当期純利益は、前回予想比 440 百万円減少し 440 百万円（ただし前期比 1,419 百万円の改善）になる見込であります。

以上